

たくましく 伸びよう 伸ばそう 高島の子

まなざし

題字：西川桂都書

2024
3月号
No.43

発行：高島市青少年育成会議
(高島市教育委員会事務局社会教育課地域教育連携室)

一年間の活動を振り返って

高島市青少年育成市民会議
会長 杉嶋 郁夫

平素は、高島市青少年育成市民会議の事業に格別のご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和5年度は、止まっていた活動を再開させていく1年となりました。当会議では、キャンプや地域学習など様々な活動をしています。地域や学年の垣根を越えて子どもたちが集まり、大人の助けを借りながら、自分たちで考え、話し合い、行動していくことは子どもたちの成長につながります。当会議での活動を終え、一回り成長してそれぞれのお家に帰っていく子どもたちを見送る時が一番やりがいを感じる瞬間です。

来年度は、更に活動を充実させていき、子どもたちに楽しんでもらえる活動を行っていくとともに、次世代のリーダーとなる人材の育成に努めてまいります。

高島市青少年育成大会 を開催しました

令和5年11月19日（安曇川文芸会館）

講演：田村綜合法律事務所 田村健一さん

「居場所を求める子どもたちを通して～グリ下に集まる背景と根本的解決を図るために地域にできることは？～」を講演していただきました。「ひとりぼっちにさせへん」をモットーに熱く取り組まれておられます。自分の居場所を求める子どもや若者が増えているという問題は、決して都会に限った話ではなく、高島市でも居場所づくりや地域での見守りが大切だと改めて感じました。



杉島 果歩さん



森 仁一朗さん



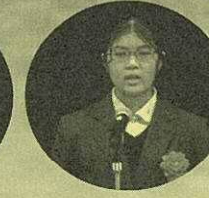
上藤 愛令さん



磯辺 真結さん



齋藤 雫さん



梅澤 桜子さん

中学生の意見発表「私の思い2023」を行いました。市内6中学校の各代表は、過去の思い、今の生活の葛藤、また未来につながる大切なことについて、それぞれの熱い思いを堂々と発表しました。1人ひとりの体験に基づいた等身大の言葉は、多くの方の心に響きました。

2023 子どもたちの

今年度は、新型コロナウイルス感染症の制限が大幅に緩和され、多くの活動ができました。

交流体験活動

第1回 藤樹先生を学ぼう!



藤樹先生について学習

第2回 大洲市交流



蠟書き体験



記念撮影

よ え も ん 道 場

第3回 能登キャンプ



砂像作り



ディスクゴルフ



マイスプーン・フォーク作り



藤樹かるた大会



キャンプファイアー



金沢城見学



第4回 大溝城跡周辺探訪



大溝城跡



乙女ヶ池



探訪の成果を模造紙にまとめました

たかしまワイワイキッズ



レクリエーション



きつつき工作



記念撮影

北海道ニセコ町との4年ぶり交流

～今年はニセコへ訪問しました～



ニセコ町小学生と交流



有島記念館



高橋牧場

吹田・高島少年キャンプ大会



川遊び



うちわ作り

びわ湖から学ぶ環境学習



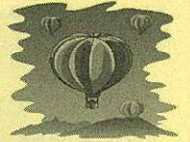
湖沼水質検査



びわ湖の環境学習



地域の子どものために
すこやかな成長のために



学区民会議 活動報告

マキノ

マキノ青少年育成学区民会議は、「マキノっ子体験塾」を、四年ぶりに実施しました。自然体験活動の入り口として、ドラム缶を使ったピザ焼きに挑戦しました。マキノ自然観察倶楽部スタッフの皆さんのアドバイスを受けながら、ビニール袋を使ってピザ生地を作り、好みに合わせてトッピングを工夫し、ドラム缶を使って焼きました。焼きあがったピザを食べながら、参加者の交流を深めました。



今津

コロナ禍で暫くできなかった、子ども体験活動も再開しました。8月に「防災について学ぼう」11月に「お楽しみ工作やお菓子作り」をテーマに活動をしました。その中で、関わる大人と子ども、そして子ども同士の交流が深められたと感じました。また、毎月の挨拶運動や強調月間街頭啓発、夏祭りのパトロール、花いっぱい



プロジェクト活動も実施しました。これからも地域みんなで子どもたちを支えられる取組をしていきたいです。

新旭

「青少年の生きる力を育成」「青少年にふさわしい環境づくり」を合言葉に今年度も町内の小中養護学校から標語を募集し、7月には、児童・生徒と委員30名が30枚ののぼり旗を作成しました。また、クリーンアップ作戦やストップ足形設置、駅前の花壇整備を通して、安心・安全で季節のうつろいを感じられる住みよい街を目指して活動を続けていきたいと思ひます。



朽木

小学生対象の体験活動「てんぐクラブ」を年間6回実施し、クラフト作り、ヨシの紙すきと竹の水鉄砲作成体験、しめ縄づくりなどに取り組みました。作品は文化祭に出展しました。また、毎年恒例の「家族ふれあい」ポスター、三行詩に応募があり、朽木青少年育成学区民会議で審査を行い、入賞者を表彰し、展示しました。



安曇川

新型コロナウイルス感染症のために中止になっていた「保育ボランティア」を今年度再開しました。「保育ボランティア」は小学校5年生から中・高校生を対象に、夏休みの間、町内の保育園・こども園・学童保育所で保育等の体験をする活動です。今年度は50名の小・中高校生が体験に参加しました。



高島

子どもたちの心身ともに健やかな成長をめざして、さまざまな体験活動を実施しました。「親子ハイキング」、「陶芸教室」、「スポーツ遊び教室」、「お菓子作り教室」の他に、「高島キッズチャレンジデー」では、防災をテーマに「かまどベンチ」や「ロケットストーブ」を使った避難食作り（炊き出し）を体験しました。

かまどベンチで
カレー作り



子どもたちをSNSの危険から守るには みんなを大切に思う世界をめざして

2月29日(木)新旭公民館多目的ホールにおいて「サポーター研修会」を開催します。簡単にたくさんの人と繋がることができるSNSや、アプリの中には、取り返しのつかない危険に誘導するものがあります。これは人ごとではなく、各家庭のリビングにも子ども部屋にも入り込めます。講師にNIT情報技術ネットワーク株式会社の篠原嘉一さんをお迎えし、危険な仕組みを理解し、適切な使い方を学びます。また、子どもたちがお互いを尊重し、楽しいSNS生活を送れるようにはどうしたら良いかを改めて考える良い機会になることを期待しています。



子どものサポーター 体験活動 募集!!



野外活動やクラフトなど、子どもたちの体験活動や遊びを支援・指導していただけるサポーターを募集しています。皆さんの知識や技術、経験を、子どもたちの体験活動に生かしてみませんか。

「教えることまではできないけれど、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしたい」といった方も大歓迎です。

協力金のお礼と報告

今年度、皆さまからご支援いただきました協力金は、69,563円(令和6年1月末時点)となりました。心より感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの健全な育成に引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会長 杉嶋 郁夫

つばやき

新型コロナウイルス感染症などの影響で、ここ数年は子どもたちを集めて体験活動や宿泊研修などができない状況が続いておりましたが、今年度はこのような活動を少しずつ再開していく1年となりました。来年度は市民会議の活動をより一層盛り上げていき、来年度の本誌の紙面が子どもたちの笑顔であられるよう、市民会議一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

(広報啓発部 H.Y)

題字“まなざし”について



「まなざし」は、中江藤樹先生の「五事を正す」の「視」からいただいている。「五事(ごじ)」とは・・・「貌(ぼう)」「言(げん)」「視(し)」「聴(ちょう)」「思(し)」を言う。普段の生活やまわりの人々との交わりの中で、自ら五事を正すことが良知をみがき、良知に致る大切な道であると説いている。

2024年 3月 第43号

発行：高島市青少年育成会議

編集：広報啓発部

事務局：高島市教育委員会事務局

社会教育課地域教育連携室

電話：25-8565 ファックス：25-8145

メール：syakyo@city.takashima.lg.jp

地域の子どもは
地域で守り
育てましょう。
高島市青少年育成市民会議



環境に配慮した植物油インキを使用しています。